



清水町では、町ぐるみで子どもたちを育てていくコミュニティ・スクールが進められています。各保育・教育現場では、修了式・卒業式など子ども達にとって節目の時期を迎え、子ども達の成長を喜び、顧みる時期でもあります。

この一年間、多くの地域の方々に関わっていただけたことに感謝を申し上げ、子ども達の元気な活動を支えるため、引き続きご尽力を賜ることをご期待しているところです。今月号においても町民と子どもたちの関わりを中心に、その様子をお伝えいたします。

しみず認定こども園

ひまわり組のお兄さん、お姉さん ありがとう！

3月7日お祝いの会がありました！

ひまわり組のみんなは大きくなったらなりたい衣装を着て遊戯場に集合しました！

お立ち台に乗り、何になりたいのかみんなの前で発表すると見ていたさくら組、たんぽぽ組のみんなから「かっこいい〜！」「僕もなりたい！」との声が上がっていました！



その後はありがとうの気持ちを込めてプレゼント交換やさくら組、たんぽぽ組から歌のプレゼント、職員の手品ショーを見たりしました！

たくさんいろいろなことを教えてくれ、遊んでくれたひまわり組のお兄さん、お姉さんに感謝の気持ちをもって参加

することができました！ひまわり組さん、
小学校に行っても頑張るね！



御影こども園

きれいなお花をありがとう！

3月21日（木）清水高校からペチュニアの鉢植えをいただきました。

色鮮やかに大きく花を咲かせているペチュニアをみて、「わあ！きれい！！」と感動していた子どもたち。

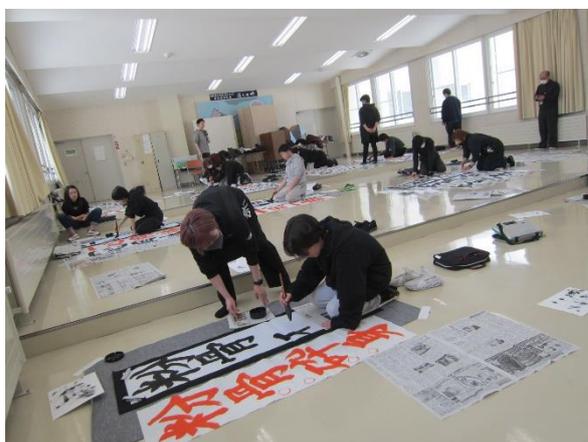
このペチュニアは清水高校2年生の男子生徒13名が12月初めに種から育ててくれたものです。毎年、清水町のこども園の年長児にプレゼントされ、卒園式の花道や会場に飾らせてもらっています。

きれいな大輪のペチュニアによって会場がとても華やかになります。

卒園式終了後、一人に1鉢のお花を持ち帰ります。小学校入学を心待ちにしながら、自分たちためにペチュニアを育ててくれた気持ちに感謝して大切にお花のお世話をしてほしいと思います。



清水小学校



今年も力強い字が書 けました！

3月22日に行われる清水小学校第121回卒業証書授与式に向け、式場に掲示する四字熟語を6年生が条幅紙に書きました。

卒業を間近に控えたこの大切な節

目の時期に、普段は使うことのない書き初め用の太い筆で、墨をたっぷりを使い、堂々と力強い筆致で四字熟語をしたためました。

今回は集合室で行いました。事前準備として、子どもたち自身が、学校に保管してあるお手本の中から書きたいと思う言葉を選びました。そして本番にのぞみました。しかし、筆がいつも使っているものよりも太く、また半紙も大きいため、なかなかうまく書けません。それでも諦めず、書写ボランティアの方に筆の使い方、字のバランスの取り方、文字と文字の間隔など、上手に書くコツを教えていただきながら、うまくいくまで取り組みました。おかげさまで、子どもたちは納得のいく作品を仕上げることができました。達成感に満ちた表情で、授業を終えていたのが印象的でした。



今回、子どもたちが心をこめて書き上げた作品は、前述のとおり、卒業式にて掲示する予定です。

小学校生活最後の登校日である卒業式が、さらに子どもたちの作品で、彩り豊かになりそうです。

書写ボランティアの方には1年を通じて3年生以上の習字の個別指導をご支援いただいています。

御影小学校

書写ボランティア



年度初めは、筆の持ち方や手の付き方の基本から、筆のぐるぐる書きなど、興味が高まる学習から始まります。学校では習字は担任の一斉指導で進めていますが、書写ボランティアの方が学級を見回りながら、その子に応じて、筆のおき方や止め、払いなどを丁寧に教えていただいています。5年



生の3学期には、小さめの条幅（縦長の半紙）を使って「世界の国」という文字を練習し、清書をしました

6年生になると実際の条幅を用いた4文字熟語に挑戦です。

この日は地域書写ボランティアの方が9名も講師としてご協力いただきました。

小学校卒業を間近に控えた6年生は、4文字熟語を調べ、今の自分の気持ちやこれからの将来への思いなどを書に込めました。



「起死回生」や「威風堂々」など、さまざまな書に取り組みました。

また、「孜孜不倦（ししふけん）」等、大人でも知らない文字に自分の思いを託す6年生もいました。講師の先生方から、指導を受け、自分の思いを太く大きな字で表現していました。

6年生が書き上げた条幅習字は、卒業式に掲示させていただきました。

21枚の条幅習字が並ぶのは圧巻でした。1年間ご指導ご支援誠にありがとうございました。

清水中学校

給食バイキング ～食と人への感謝を胸に～



楽しみにしていた給食バイキングが始まると、事前のレクチャーに沿って、栄養バランスを考えながら、料理を選んでいきます。

正直言えば、すべて食べたいところですが、自分のお腹と相

3月8日（金）、給食バイキングが行われました。例年、3年生の卒業を祝うかたちで、実施していただいています。

入試も終わり、卒業に向けた準備をしている3年生。数多くのメニューから、当日はリクエストが多かった料理がならび、生徒の胸も高鳴ります。



談しながら量も決めます。でも、ごちそうを目の前にして、食欲を抑えることなど、とうてい不可能です。



愛情いっぱいの料理を堪能し、とても幸せな時間を過ごすことができました。卒業後も大切な思い出として、生徒たちの心に刻まれていくことと思います。

小学校から9年間お世話になった給食とも、まもなくお別れです。常に栄養バランスを考え、美味しい

給食を届けてくださった給食センターの皆さんへの感謝を胸に、卒業を迎えます。

御影中学校

「認知症サポート講座」 「薬物乱用防止教室」



3月8日(金)に「認知症サポート講座」、3月11日(月)に「薬物乱用防止教室」を、それぞれ3年生を対象に行いました。

清水旭山学園せせらぎ荘及び新得警察署より講師をお招きし、毎年実施している講座です。

認知症サポート講座を終えた生徒の感想は、「祖父や祖母が認知症になったら優しくいつも変わらず接していきたいと思います。」「認知症の方の力になりたい、ボランティア活動してみたいと思いました。」等、認知症に対する正しい知識を得ることで、今後の活動の幅を広げていきたいと考える生徒が多くいました。



「認知症サポート講座」



薬物乱用防止教室では、「薬物はとても身近に潜んでいるので今回の話を通して身につけた正しい知識で、そういう依存から自分自身を守りたい。」等、改めて、薬物乱用の恐ろしさについて再認識すると同時に、そのきっかけなどについても知識を深め、全ての生徒が「絶対に危険ドラッグは使用しない」と決意することができました。



「薬物乱用防止教室」

CS 委員会

学校と地域との意見交換を実施

本年度第3回清水・御影CS(コミュニティースクール)委員会が、御影公民館を会場に3月1日に合同で開催されました。

CS 委員会は、地域とともにある学校づくりのための学校運営協議会制度に基づくもので、清水町では5年目となります。

まず各学校長から学校等経営の取組結果として、児童生徒や保護者及び教職員からのアンケートを基に考察した結果の説明がされました。

続いて、清水町が進めています小中一貫教育の進捗状況と清水・御影の各推進委員会から活動報告がされ、着実に進められていることの説明がされました。

その後、学校と地域との意見交換として、しみず「教育の四季」の本年度の重点事項を振り返り、実現できたか、さらに深めるためには何をなすべきかなど、めざす子ども像に向け熱心に熟議したところです。

普段の地域としての子ども達との関わり、あるいは様々な学校を支援するボランティアなどでの関わり、または子ども達の意見を少しずつでも実現していくことへの地域や大人の姿勢も、子ども達の地域愛につながっていくとの意見もありました。

